京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年 紀元二千五百六十九年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
大祭日及び日曜日休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

甘茶澁茶

▲表情の分量

人が表情すると云ふことは至つて六ケしいことで又た至つて必要な事柄であるが、人が怒つてよくイヤがられるのは其の怒り方が惡るいからであつて、人が泣いたとてよく笑はれることがあるのは其の泣き時が惡るいからである、泣くべからざる時に泣いたり怒るべからざる事に怒つたりするので人々にも笑はれイヤがられるのである。人苟も平ならざるものがある時には形に外に現はるゝのが本當の事にて無理にも掩はんとするのは不自然なるのみならで遂は一の罪惡と云ふべきものである、何となれば表情をいなむと云ふのは己れを欺き人をも欺き戀ては延て世をも欺かんとする行爲であるからである、水の平ならずして鳴るのと同じく其の分量其の深淺其の場合に從て正比例に其の響きを立つるは甚だ無邪氣で甚だ天眞爛熳なるのみならず又た甚だ大切の事である、唯之を表はすに當て禮と義とを以て行ひ制するにあらざれば動物の露骨の表情と撰ぶなきに至ることには注意を拂はねばならぬ、是れ表情の六ケしいと云ふ所なのである。

▲數々すれば疎まる

天麩羅は至極甘いものではあるが立て續けに頬張れば此の位イヤなものはあるまい、食事にかけては人の親しく知る所でメッタに弁歴事はせないが世人が天麩羅の立て續けを社交の上に屢々行ふのは不思議の次第である、好きと嫌ひとは元より人々によつて異つては居るけれども、マズイものでも甘いものゝ後には甘く感ぜらるゝとのあるのに心するのは料理人の苦心のある所と云ふ事には氣が付きながら、之を直に社交の上に行はねとは何たる事ぞや、世に應用する事の多き中に此の位直に應用の利くものはあるまじ、此の邊の消息[illegible][illegible]く注意すれば存外社交は易いものなり、人に數々すれば終に疎まると云ふ言味ふべきものではないか。

▲娼婦の眞似

口には頻りに平和々々と唱へて居りながらソッと覗けば後ろには劍を匿くして居るのが今日の國と國との間柄であつて彼れも此れも軍備をさく怠りないのは所謂武裝的平和とでも云ふのであらんが世の中は總て此れ式にて渡るゝものであるやら、心にはどんな企みを懷いて居ても表面さへ良ければ其れで行くなら世は存外馬鹿なものなりだが事實は其れでよい揭示して居るのは、恰も娼婦が惚れて居ますとじやれるにも似て噴飯に堪へぬか、是れも表面だけなりとも良いには如かぬと云ふ流義なるべし。

雜報

韓國穢多種族(三)

今村鞆視の談

白丁の社會より擯りし迫害

前章に置いて述べた如く、白丁の社會的地位は最下等で、誰一人齡する者もない、白丁とさへ云へば唾も吐き懸けない扱かひぶり、無論兵隊にもなれねば官吏になる事もできぬ、其代り租稅は一切免除となつて、早い話が人間らしい待遇は爪の垢程もしてくれない、今細目に亘つて之を說かう。

△衣服の制限 衣服は一切絹布類の着用を許されない、又毛の帽子も冠る事ができぬ、冠は平壤子又は平陽子と稱する俗にペランギーと云ふ不格好なもの丈け許されて居るが扨て冠の紐には布片は用ひられない、稈か紙捻で結ばねばならぬ、まだそればかりではない、葬式の時分でも喪服喪笠は着けられない、唯喪の頭巾丈けなら冠る事ができる、如何なる場合と雖、女性が箸を用ゆる事などは許されない。尚この他に網巾を許されて居るが宕巾も頭巾は禁じられて居る。

△體刑 白丁が罪に坐した時は臺を用ゐず地上へ倒して置いて笞刑を加へる普通の犯人ならば必らず臺の上へ据へて叩くので、臺を撤して直接地上に坐らせるのは再犯以上の程重い犯人である。

△葬式 葬式の場合に籠に乘る事ができぬ、大抵朝鮮の寒村僻地には一村共有の葬式籠がある、平常から賴母子講のやうなものを作つて準備して置くので遂近頃の事白丁の一人が死亡したので右の籠を借してくれろと申込んだ、常民連は火のやうに怒つて之を拒んだところ白丁も四民平等の御發令のあつた今日何もそう水臭い事を云ふにも及ぶまいと敎唆き込んで郡守に訴へ出た、そこで郡守から常民へ懇々諭したけれど何時かな頑として之を聞入れず、已むなく白丁は獨力で籠を作つて葬送を濟ませた相である。

俳句

○四樂君の良緣を得られたるを祝して

祝ふらむ契り濃かき鴛鴦の床　六坊
贈られし菊に背齋の狹さかな　かつら
福神にひとつ添わけ鉢の菊　秋花
田鼠化す日和なる可し菊盛る　龜甲
四海波節かやきくの朝ばらけ　玉糸女
樂しさの三つを殘して菊の酒　蘭坊
君が代や菊の香に搖る日章旗　月哉
新妻のほろ醉ふ小春日和かな　桐雨
婚禮を千代に納めてきくの酒　菜菊
菊の露この花嫁にそゝがばや　酒泉
君訪ふて戻れば袖に菊かほる　むら

○寄松祝　貞家

和歌 松の根ざしやいとゞ固からん契り濃かく生ふる姬蔦

第三十三席　伯山改　神田松鯉口演

保元元年七月廿三日の夜の四つ過ぎでございます、俄かにワー／＼つといふ鬨の聲、こは唯事ならず、と忠國は唯一人で臥床を出まして物見へ登らうとした時に、驅付けて參りましたのが腹臣の吉田兵衛、高間四郎の二人、忠『コレ／＼兵衛……』兵『ハッ君は此所に居らせられましたか』忠『ウム、那の物音は何んぢや』兵『さればでござる一大事出來…都に於ては新院叛逆を起し玉ひ、本月十一日の朝まだき合戰始まり其日の內に新院方は敗軍遊ばしました然るに下野守殿義朝公は內裏へ召され判官爲義殿は六人の子息を召連れ玉ひて、院の御味方に加はられ、軍破れて後は、親子兄弟皆チリ／＼バラ／＼に成り玉ひて其生死を知らず、去れば菊地原田のやから勅命をさしはさみて、日頃の不快を晴らさん爲め、唯今押寄せたりとて一城騷動を極め居ります、由つて某等御注進のため斯く參りました』これを聞くと忠國驚いたが、流石は一城の主人顏の色には出しません忠『左樣か、イヤ折も惡く鳥羽上皇の崩御斯かる事もあらんかと窃かに心配致せしが倚てはさうであつたか、然し又一方から考へる時は、爲朝始め宗徒の郞黨は多くは彼の地にあり、然らば菊地原田の者共左る流言を放つて押寄せたるやも計り難く、何れにしも油斷は出來ず、早く合戰の用意に及べ』と仰せある折しもハヤ忽ちに鬨の聲四方に起り大皷鐘の音喧し、吉田高間は是れを聞くと毫も別段騷ぐ景色なく『され(ば)敵も間近へ押寄せたりと覺ゆれ、某等先づ罷出でゝ防ぎ申さん、御心靜かに御用意召されい』と二人は飛ぶが如くに退きました、此時忠國は白縫を召して 忠『唯今承はれば云々なり、其方も其覺悟して敵に耻を受くべからず』と、言捨いて鎧を一着に及び表を指して出で玉ふ、さても吉田高間の二人敵陣に迎ひ大音揚げて呼るには『一院崩御の時に當つて、私に干戈を動かさんこと不都合ならずや、抑も何者の寄たるや其名を聞ん』と呼つたり、時に寄手の陣營より卯の花縅の大鎧に星白の兜を着なし栗毛の駒に乘りたる武者二人篝火の影に馬を進めて『汝知らずや、新院に於ては此度叛逆を起させられ、去る十一日の戰ひに新院方、手も無く敗走して汝等が主君と賴む爲朝も立足もなく何れへか姿を隱せり、由つて此度／＼菊池原田二家院宣を蒙り、爲朝の一族郞黨を召取つて差出せとの仰せなり、私に干戈を動かす者ならず、旗を伏せ陣門を開いて降參なさば好し、左もなき時に於ては、塵に致すに由つて覺悟をせよ』と大音揚げた高間の四郎カラ／＼と笑つて 四『九州九ケ國を併呑して其名海內に現われたる御曹子爲朝の館へ夜討ち仕掛るとは、命知らずの山狗かと思ひしに菊池、原田の兩家にてあつたるか、夜も更けたれば待遇すべき品もなけれど、唯こゝに用意の弓矢あり、是れを進上申すに由つて馱はずば受けて見給へ……』と云いも果てず强弓ヒョーと切つて放した、眞つ先きに名乘を上げた王名太郎と云ふ者の咽喉へグサと突通つたに由つて忽ち馬からドウと落つる、アッと寄手は驚く所へ差詰め引詰め切つて放したから、流石の敵も少し色めいた所へ忠國は、一の木戸をサッと開かせ、百五十人の兵を左右に從へて一度にドッと馳出すれば、吉田高間もこれを見て物見より走り下り、敵の中へ切つて入る、寄手は大軍なりとは申せ、死を極めたる忠國の百五十騎に當り難く、一町計りドッ／＼と崩れて退く忠國は敢て遠くは追はず人馬を安めましたが、味方も三十人計り手負があり、二十三人は討たれた、白縫は日頃雄々しき甲斐あつて八代以下二十五人の侍女を皆同じやうに扮裝せ、御自分は鉦打ちしたる鉢卷きに小具足の腹卷なし白柄の長刀を携へ、紀平治の妻八代も女中と同じく扮裝つて、床机に腰打掛て居られた

廣告

十五歲以上廿歲以下のボーイ數名入用
京城ホテル

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

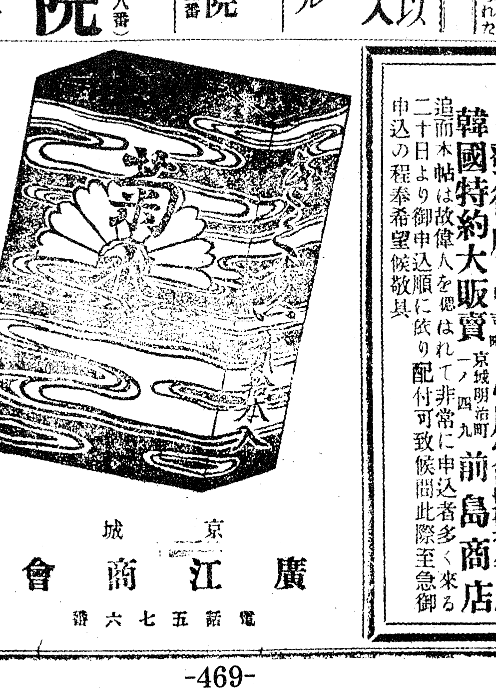
入院隨意
中島醫院
京城壽町三丁目(電話三七八番)
院主醫學得業士 中島貞信

南大門停車場內喫茶店
京義線直行列車內食堂

西洋料理 一皿 二十錢
コーヒー紅茶 一杯 五錢
チートース 一人前 十二錢
洋酒 一杯 十五錢
客室內に食卓を設け洋食及び辨當を調進し尙酒、烟草、菓子、果物等販賣致候

右十一月一日より開業致候に付舊に倍し御愛顧御引立の程奉仰候猶喫茶店には清潔なる兩便所の設備も有之候

京城南山町三丁目
京城ホテル
電話一二三、電四九二



京城 廣江商會
電話五七六番

伊藤公爵家寫眞係小川一眞撮影
故伊藤公爵葬儀係認可
伊藤公國葬寫眞帖
定價 全一冊金壹圓五十錢也送料八錢

故公最近大肖像(原カーボン紙刷)〇靈柩橫須賀上陸光景數圖〇同新橋停車場より官邸に至る行紲數圖〇同沿道紲踏光景數圖〇葬儀行紲及沿道光景十數圖〇大山東鄕諸元帥棺側徒步光景〇國葬式場全景〇元老大臣各國大使公使未亡人遺族其他文武百官參拜光景十數圖〇大井村埋葬光景數圖等大判約五十頁

內容要目

蓋し伊藤家累代の記念の爲に撮影を命ぜられたるものなるも公の如きは一家の私すべきに非ず國民の以て記念とせざるべからざるもの强て請ふて江湖に頒つ苟くも國民たるもの速かに一本を具へて故偉人を偲ばざるべけんや

發行所 東京新橋日吉町 小川寫眞製判所
韓國特約大販賣 京城明治町一ノ四九 前島商店

追而本帖は故偉人を偲はれて非常に申込者多く來る二十日より御申込順に依り配付可致候間此際至急御申込の程奉希望候敬具

京城新報

天理不知の罪
暗殺の流行

近者の外電は、印度總督ミント侯が、侯の夫人と倶にアメッドアバットを通行する際、兇漢の投ふ所となり二個の爆裂彈を浴びしも、幸にして破裂するに至らず僅に無事なるを得たりと報ず。嚢には我前統監伊藤公の哈爾賓に於ける變事あり、今復た此の報に接す余輩は近時漸く各所に政治的色彩を帶べる暗殺の流行し來れるにはあらざるかを疑ふ。世はナカ〳〵物騒千萬ならずや。

世に盜賊なるものあり、盜むに亦た三分の理ありと言へば、此等政治的色彩を有せる暗殺者の主張にも亦たソレ相當の理窟あるべしとは思へど、此等が常に小數不平者の代表者の頑迷無智にして天理を辨へざるものゝ手に藉て演出せらるゝを見る毎に、未だ曾て唖然として憫愍の念に打たれずんばあらず印度が英國の支配下に立ち、朝鮮が日本の保護國となるに至りたる所以のものは、抑々何が故ぞ。叛亂相踵ぎ賊盜徘徊し、收斂苛酷にして民に遺産なく爲政者孤り傲奢を極めて衆が枕を高うするよ能はざりしは、兩國往時の狀態ならずや。多數の苦楚を犧牲に供して小數者の權威を逞うしたるは、兩國昔時の狀態ならずや。此の如きの政治は是れ野蠻の往時の爲政家の夢になれるものにして、横暴も亦た甚だしく、遂に多數不幸者の苦痛を塗炭の外に救はんと欲する英國日本の爲めに或は統治せられ或は保護せらるゝに至りしものは、實に天理の然らしめし所にして、決して強者の弱者を食ひしには非ず。見よ現時印度及朝鮮の人民の多數は、暴悖なる舊爲政者の壓迫を免れ苛酷なる舊俗吏の誅求を脱し心靜に生を養ひ晏然として産を保つを得るに非ずや。最大多數者の最大幸福を增進せしむるを以て主眼とするは文明政治の根本義にして、天理の方に使命する所の者也英國の印度に於ける政治にして此根本義に反し、日本の韓國に於る政治にして此根本義に反したらんには印度人や韓人やが自刄爆彈を假らずとも天理は決して其れが存立を聽すべくもあらず偶々小數不平者の己れが私慾を逞うせんが爲めに、目の上の瘤として多數人子の代表者たる爲政家を斃すが如きは恐も亦た甚だし〳〵。昔の專制者を斃せば施政の忽ち變りしを夢見るに職由せんも、今日の政治が常に多數人の意向に由て爲さるゝものなるを知らば、百の爲政者を斃すも亦た益なきことも見易き道理ならずや。而して文明の爲政は最大多數の最大幸福を增進せしむるを以て主眼とするものなるを知らば、無暗に己れの不平を漏し、私慾を逞うせんが爲めに爲政家を斃すが如きは、啻に行爲の愚なるのみならず、延ては却て其の目的とする所の自治の希望をば空しきに歸せしむる所以たるをも知らん。心を靜め實を養ひ時の至らんを是れ待つべきは、汝の務めにあらずや。印度民はさて措き朝鮮の民衆の心を注ぐべきは方に此にあらずや。

東京電報

▲**兩陛下の離宮行幸**　天皇皇后兩陛下には十九日午後二時御出門赤阪離宮へ行幸觀菊御宴催させらるゝ旨仰出さる(十六日夜着)

▲**靈南坂官邸の引渡**　御思召を以て伊藤公の爲め特に築造せられたる靈南阪官舎は一先づ宮內省に引渡すことゝなれり(同上)

▲**豊島少將の差遣**　陸軍重砲兵監豊島陽藏同監部員砲兵少佐中島榮吉の兩氏は韓國へ差遣せらる

▲**露國移民の奬勵**　本年度に於て大に露國民を極東各地に移植せしめんとする計畫は農商務省の決議を經たるが同國官憲は政治上軍事上の理由より極東及び中央亞細亞に於ける露國移民を是非必要とするの意見なるより極力保護を加ふる筈なりと(同上)

▲**伏見大將宮の旅程**　來廿八日旅順、白玉山表忠塔除幕式に陸軍を代表して御參列あらせらるゝ伏見大將宮殿下には十八日午後二時半新橋御發車途中神戸岡山門司各御一泊廿四日佐世保御着廿六日旅順御着の御豫定なりと(同上)

▲**佛教徒伊公追弔會**　全國佛教徒聯合會の伊藤公追弔法會は諸般の準備整ひたるも伊藤家の都合にて五十日祭後來月上旬催さるべしと

▲**兇漢の豫審終結**　兇行者安重根の豫審終結し有罪と決したるを以て愈公判に移されたるが連累者は八名と決したり(十七日)

▲**樞相以下の親任**　本日午前十時宮中に於て左の如く親任式ありたり(十七日)

公爵 山縣有朋　任樞密院議長

男爵 牧野伸顯　任樞密顧問官

▲**齋藤大佐の任地**　前關島派出所長齋藤大佐は韓國駐劄軍司令部附を仰付けられたり(同上)

歐州電報

▲**砂糖疑獄事件**　砂糖重量詐欺事件は最近調査の結果大藏省內の高等官に連累者あるを暴露し前大藏卿イーマンゼーゲー氏も嫌疑者の一人なり(十七日東京經由)

▲**露國議會の議題**　露國第三議會は開會中なるが露土密約即ち治外法權撤去、アナドリア鐵道敷設權放棄クリー島所屬承認の代償として得たるダーダネルス海峽通航權獲得に關する問題は未だ確實ならざるに非議するもの多く又同海峽通過權が獨り露國に限れるや否やに關しては列國の大に注意する所なり(同)

▲**英獨通商條約締結**　英獨通商假協約は多分締結せらるべしと報せり(十七日東京經由)

▲**本野大使の歸程**　駐露日本大使本野男爵は西比利亞經由歸朝の途に就きたるが露國外務省は日露關係に紛糾發生せりとの說を極力否定す

▲**獨帝清公使招待**　獨乙皇帝は駐獨清國公使を十五日キールに催すべき海軍宣誓式及新建造艦觀艦式に招待すと(同上)

北京電報

▲**清皇帝の御健康**　清國皇帝は皇太后と御同棲親しく御撫育を受けさせられ至極健全に御成長の由拜聞す(十七日着)

▲**欒州炭坑採掘權**　英國公使は開平炭坑の英國商人の爲め欒州炭坑の採掘權を要求したるが商議諸議局議員は密議の上北京外務部に對し同炭坑を他國に讓與するとの不可なる所以を極力抗爭するに決せりと(同)

航路補助は誤報

仁川を起點とさせる西海岸航路補助請願の件は信夫仁川理事官の斡旋に依り合名會社を設立せしめ既に解決したる旨既報せしが農商工部當局者の談によれば右は全然無根の誤報にして過日信夫理事官出頭し至急解決せられたき旨交涉ありたるも當局者の希望する條件を具備せざるを以て折返し協議を悉くしたる上再願する事となり居れり斯の如く出願當事者間の妥協未だ成らざるに何を以てか解決の運びを見るを得ん殊に補助金下附の如きは同部のみにて專行し得らる可きものに非ず乃ち度支部との合議を要するを以て縱令部議其必要を認め補助を決定するも尙ほ多少の期間なかる可からず然れば該航路補助金下附の請願は乃ち未知數の運命にある次第なるが採聞する處によれば信夫理事官は或る少數者の利益を計るの傾向あるものゝ如く頻りに合名會社組織を強ひつゝありて現に當局者に對して既に相互間の妥協成立せるものゝ如く裝ひ居るも多數者の意向は寧ろ株式組織を熱望し今尙ほ紛擾を極め居れり而して理事官の慫慂する如く合名會社とせんか無經驗者無資產者其內に在りて責任の權衡を保つ能はず結局利權屋の喰物となりて釜山木浦の轍を踏むの外なかるべし假りに是を是とするも資金の拂込み困難なる事明かなり斯かる薄弱なる基礎の上に成立せる會社に對し此有要なる航路經營を委するが如き危險も又甚だしとし株式希望者は教圖き居れり而して當局者の意向も亦健全なる組織と眞摯なる經營とを希望するものゝ如くなれば充分なる成算を具申せざる以上は認可するを得ざる可しと

官煙と日韓關稅

滿洲及び韓國に於ける我官營烟草は專賣局に於て殆んど利益なき迄に原價を引下げ居るに拘はらず之れが販路日に月に縮少せられ之れに反して米國烟草トラストが製造上我に比して頗る不利の地に立てるにも拘はらず却つて我製品を驅逐しつゝあるは甚だ憤慨に堪へざる次第なるが由來韓國に對しては我は實に多大の犧牲を供し今日にては我は獨立の一帝國なれども其實は恰も我附庸の國に異ならず列國も亦弱く認め韓國に對する我施設に關しては一言可否を論ずるものなく全然我爲すに放任して顧みざるにあらずや尤も關稅問題は條約上實に重大の問題にして若し我煙草に對し關稅を免除し若くは輕減せんか列國は必ず條約上の權利を主張して我に均霑せんことを要求し茲に外交上の一問題を生ずべしと雖も去二十六年の條約改正に臨み我當局は今日の場合を豫想して獨逸に對し特に某國(條約には韓國と明記しあらざれども事實韓國たることは疑を挾むの余地なし)と條約を締結する場合に於ける我權利を保留しあるが故現任當局にして韓國と別約を締結するに於ては彼關稅を左右し以て能く我權利を保護するを得べきにあらずやと論ずるものあり

今後の對韓方針

對韓方針に關し內閣側にては或は積極方針に出づべしと云ひ或は對韓方針は既に變更すべく決し居たるも伊藤公兇變により却て障碍を來したるやに傳ふれど責任ある人の語れる所に依れば伊藤公か我保護下に在る韓國人の爲め悲慘の最後を遂げたるは畢竟宗主國として我國の威信が未だ被保護國民の全體に及ばざりし結果にして寧ろ統監政治の失敗なれば只管保護[illegible]完[illegible]を期すべく[illegible]目的[illegible]向[illegible]みなれば縱令太皇帝が來朝[illegible]あるも之を拒絕すべしと强硬を得[illegible]如く得ざるが如し(說苑)

地方行政機關振興

韓國地方行政の首尾不整一にして此が刷新改善の必要あるは何人も認むる所なるが愈々統監府に於ても其必要を覺知し地方行政調查委員會なるものを新設し根本的地方行政の振興を計る事に內定し目下審議中なり因に前記調查委員會組織に關する成案は昨日統監府に開會の大臣會議に內示せり

鐵道敷地の買占

京仁某々の投機者等は湖南鐵道停車場用敷地に供給の目的を以て某地方の地所買入に着手したり而して該投機者等の使用する線路概畧圖は某官憲より與へられたるものゝ由なり因に地所買入資金を大坂方面より供給さるゝとは投機者等の聲言するところなれども幵は全く跡方もなき事にして投機者相應の流言なるべしと云ふ

●**豊作と最近の米況**

本月の價格は十二圓にして先月中に比し五十錢の下落をなせしが原因は日韓共に本年は豊作なる爲めなり最近に歸朝したる有力なる某米問屋の談る所によれば日本に於ては近來布哇其他外國に多く輸出され居れば從來日本の豊作に就て生ずる陷欠を彌補する可く前途に光明を認むるに至れり、因みに朝鮮米は米質も日米と異なりなく價格は廉なるを以て外國へ輸出さる可き筈なれど何分乾燥法の不完全なる爲め途中にて變質し外國には不向なり然して相場は今後如何程下落或は上騰するや目下氣迷ひ中なれば從つて京城方面に於ける重なる商賈は昨今絕無の有樣なり

●**市民會と民團議員**

京城居留民團民長後任問題に關し市民を代表せる民團議員の態度が不統一且つ誠實を缺げる事居留民の激昂する所となり去る十五日市民の重立つ者五十余名商業會議所樓上に會し遂に決議を爲したる上實行委員を選定したる事は昨紙報道したる所なるが實行委員田村增田、古城、小川、高木の五氏は昨十六日彼の決議文を携帶して和田民團議長を訪問したるに同氏は生憎旅行不在中なりしを以て取敢へず各民團議員に對して右決議文を廻付したりと云ふ

●**勞働組紛擾の其後**

仁川應信廳と日韓勞働組との紛擾は其後調停纏り此外に大韓勞働組なるもの現はれ三者鼎立の狀態にて至極脊[illegible]信[illegible]十數年來[illegible]統一を缺き遂に部內二派に分立するに至りたるが之れと同時に元來應信廳には墓地を開[illegible]の名義にて所有し居たるが端なくも二派にて其所有權を引張合するに至り昨今紛擾を極め居れりと

●**一銀貨幣發行週報**

第一銀行券總發行平均高(自十一月七日至同月十三日)	一二、三一〇、〇〇〇
內 正貨準備發行高	四、一八六、四〇〇
保證準備發行高	八、一二三、六〇〇
銀行券市場平均手許有高	七一三三、九二八
銀行券流通高	一一、五九六、〇六二
硬貨發行額(十一月十三日現在)	五、三二五、一四〇
內 金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇、〇〇〇
同 五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	七九九、五〇〇
同 二十錢	一、一〇八、〇〇〇
同 十錢	九二二、五〇〇
白銅貨五錢	七六一、八〇〇
青銅貨一錢	二一二、九六〇
同 五厘	七〇、三八〇

●**兇漢實弟依願免官**

伊藤公を暗殺したる兇漢安應七事安重根の實弟は安定根(二二)及安泰根(二〇)と稱し安容根は昨十六日迄京城養正義塾の生徒なりしが末弟安泰根は現に鎭南浦普通學校本科副訓導(判任官四等七級)を奉職し辛ふじて一家を支へ居たりしが然るに今回實兄重根が兇行を敢てしたるを以て身子弟教育の任にあるは面白からずとて辭表を提出し昨十六日付にて依願本官を免せられたりと

●**民團會計役の特設**

現民團會計役は林田助役兼務に屬せるが今回民長退職の結果林田氏一人にて民長事務をも代理する事となり形式上甚だ面白からざるを以て若し後任民長の官撰容易に決せず徒らに時日を荏苒する時は此際會計役を特設せんとの議起り居れり而して會計役は民會之を撰任し理事官の認可を乞ふ手續なれば撰任に就ては無論民會の召集を要する由

●**木浦地方綿花豊作**

本年に於ける綿作は氣候順を得たる爲め近年稀なる豊作にして木浦地方の如き殊に良好にて本年に至り既に出荷したるもの一萬二千五百個に達し例年の出荷數と略ぼ同樣なるが近く尙ほ一萬八千個位ひの出荷はある見込なり是れ全く價格騰貴による影響なりと云ふ

●**仁川の新道路開鑿**

仁川花町より避病院横を經京城通りに出で其より[illegible]に達する新道路は今回內部の手にて開鑿するに決し昨日仁川民役所にて請負入札に附せられたり

●**地方德行者に褒狀**

內部大臣は地方德行者に褒狀を與へ來りしが其結果良好なる成蹟を示せるを以て今後益々之等善行者に對しては褒狀を授與し風紀の普及を奨勵すべし

●**憲兵の分隊新編入**

先般間島より引揚げ來りたる憲兵九十八名は今回京畿、平壤、天安、大邱、榮山浦の各分隊に夫々編入せられたり

●**父兄懇談會の開催**

來る二十日午後一時より當地高等學校に於て父兄懇談會を開催する由なり

●**境警視の大連急行**

內部警務局警視境喜明氏は或る重要使命を帶びて明十八日大連に急行すと

龍山便り
江畔の人

▲頃者京城に於ては民團問題に關し喧囂を極め居る由、吾人の敬愛する京人よ、請ふらくば來りて此處漢江の湖に晩秋清澄の氣を御吸ひ候へ

▲而して少時、翱翔無碍の境地に居て神機の轉換を行へ、必ずや豁然として開悟する處有る筈にて候。若し一たび學の根原に悟入するあらば百の紛糾万の錯綜乃を迎ずして斷つを得べく候。

▲聞くが如くんば民團議員の意見二派に分れ、未だ其の統一を見ずと。公等迷へりや。人若し私に厚くして同時に公に忠ならんと欲せば迷はざらんと欲するも得べからざるもの、此處に煩惱の大自物潛み、表裏の反覆現はる、之れ當然のことにて候。

▲去ればこそ統監府一任說の如きも現はれたれ。餘りに子供らしき狂言にあらずや。若し熊谷前民長を推さんと欲せば何ぞ堂々之れを推擧せざる、三浦理事官の諮問に憚らずと申立てゝ拗て見せるが如きは底意の程も見へ透き候

▲夫れに引きかへ熊谷氏の態度は實に恰悧にて候はずや。氏は義に民長官選問題に關し民論沸騰せし時、民選民長として官民の中間に倒懸しジレムマの厄に遭ひし人。京人は記憶せる筈に候

▲此の熊谷氏は、其任期滿了に先だつ僅かに兩三日にして決然勇退したり、之れにて五千金は湧いて出でたり、更に官人の同情も注がるゝ譯なり、而して汪濶なる或一派の人々は後任者に就て物色するを忘れたり、此の際統監府一任說を擔ぎ出せば、其成行きは逆睹するを得、京人解せりや。

▲龍山民團は曾て京城に合併せられんとせしが、今にして想へば、能くも彼の時反對したりしよ、思ひ出すだに身の毛も悚立つ心地せられ候。

▲龍山の埋葬問題は、過日報道せし如く日韓瓦斯電氣會社との妥協調ひ、近く內部に請願書を提出する由、內部にては既に認許の內意を漏しある程なれば直ちに聽許せらるゝは疑ひ無き處に候此に於て會社に對し一つの注文あり。

▲會社創設者は當時議員の公職に在り民團の或る助力を得て其成立を見たり這般の消息は居留民の熟知する處、然れば會社は先づ居留民の利益を尊重せざるべからざる位置に在ることを自覺せられたき事に御座候。若し逆ふあらば居留民は決して許さゞるべく候。

▲昨紙所報の如く、來る十八日新選議員は初めて議場に集り、議長、會計檢查委員等を選擧すべく、且つ此日を以て初めて公事を議すべく候、願くは慎重なれ、譽て市民の與望に負かざれ至囑

●**師範學生の下仁**　漢城師範學校生徒六十五名は職員二名に引率せられ昨十六日修學旅行の爲め下仁したりと

●**向田部長の訓示**　向田京畿道警察部長は昨日仁川署員の點檢を內洞派出所にて行ひ後訓示する處ありたりと

●**岡崎主事の入京**　平壤財務監督局主事岡崎卓氏は十六日入京不知火投宿

●**檢事佐藤金助氏**　來京中なりし木浦區裁判所檢事の氏は昨日出發歸任す

●**獨逸艦の出帆**　獨逸船青島號は一昨日午後五時仁川拔錨牛莊に向へり

●**國分秘書官歸京**　伊藤公國葬參列の爲め歸朝中の國分秘書官は本夕歸京

●**木內次官の出發**　北韓視察の爲め木內農商工部次官は本日夜行にて出發

△治外法權▼

チャンチャカドン〳〵チャカドンドン、之は本日秋期官民大懇親會の名の下に擧行された司法權委任紀念祭の光景である、碌に錢も無い癖に京城の官民は何につけ彼につけ良くお祭ることだと不平る惡口屋もあろうがお祭は目出度もの故おまりケチを附るべからずである▲トコロで記者が司法權の委任を喜ぶのは之が治外法權撤去の膳立となると信ずるからである、併し茲に考ふべきことは如何に法權が我に移つて裁判が我天皇の御名に因つて爲さるゝ樣に成つても司法官が相變ずの不獨立で我大審院の判例が馬糞同樣に無視さるゝ樣では列國人が在韓裁判所を信用することゝ我本國の裁判所のソレの如くあるべき筈はないのである、從つて治外法權撤去なども思ひも寄らぬ事である▲京城韓人辯護士協會とやらは伊公の下手人安重根を露國官憲が日本領事に引渡したは國際法の慣例に悖る遣方なりと唱し列強政府へ抗議じみた訴を出したソウである、病鷄は何かの夢を見て居る事であろう▲都新聞所載某政客の曰く伊公の遭難は統監政治の手緩かつた爲で春秋の筆法を用ゆれば統監伊藤博文樞密院議長伊藤博文を殺すと書すべしだと之が本當かも知れぬがソレでは伊藤さんが浮ばれまい▲暴徒の捕虜に去勢術を施すべしとの議論が一部當局間に起つて居るソウだが之は蓋し明案であろう

●**國債報償金處理會**

國債報償金處理會にては久しく紛擾を重ね來りし[illegible]に之が解決を見ず何人も之が眞相を知らん事に腐心せるが明十八日午前十時開催の同會にて[illegible]最後の處斷を執る由にて元來元會長の尹雄烈、[illegible]講じ破綻を世上に暴露せざらん事を努め來れるものにして最後の處決を見るに至れば前者は四萬千五百圓後者は二萬三千圓の巨額を吐き出す事となり大打撃を蒙るの次第なれば[illegible]同臭の徒二十餘名を使嗾して屢々同處理會の進行妨害をなし來れるものなるが堅實なる有志は今や一齊に舉つて兩者に肉迫し斷然整理の大斧を揮ふべし[illegible]は明日の處理會に於て多分精算を終る事となるべし

●**今後の人蔘產出額**

多年炭疽病蔓延の爲め本年の本場開城の產額は極めて少く僅に紅蔘二千斤を出すに止まりし[illegible]設けて極力病毒絕滅に盡瘁せし結果來年よりは健全なる蔘苗を得べき筈なれば今後四五年の後は品質收額共に著しく發達するに至るべし尙ほ本年初て應[illegible]て一般の好評を博するに至れりと云ふ

●**各道廳務規定制定**

各道廳務規定を作成事務の敏活を計る[illegible]

●**天氣豫報**(自十七日午後六時至十八日午後六時)

北西の風晴

十六日(攝氏)　最低溫度 五、三八　最高溫度 四七、七

水源地を見せられた記(三)

紫子

居住民諸君にも更ために申上げる、諸君が現も飲用せられつゝある水道水貯水場は水口門外火葬場前四五百米突の近きにある。如何に夫れでも其の保護方法が餘りに侮られつゝあると云ふ事が事實であると、現に自分等は黍々として露出せる花崗岩角を踏みて此所を訪なへりし際に證して。構内を覗き見たるも現狀を説明し吳るゝ人らしきも見わねば車夫をして先發諸子の行動を問かしめたるも唯「日本人不在」とのみ答へて要領を得ずとか併し何れにしても水源地迄行けば落合ふことなるべしと露島へと命ずるに車夫共四人閑々と凝議に時を費す早くせよと命ずれば此所から往けるか何うか判らぬ今向ふから來る老人に聞いて見てから動くことに決つたと云ふ、心細からざるを得ぬがモウ斯うなつたら勝手に爲ろ、生かさうと殺さうと、と三度觀念の眼を閉ちかけると流石に平然たりし日城子も、聊か不安を感じたと見へて「何うも不都合ですなア」と來た「不都合と云へば不都合ですが、マア詮方がないと諦めませうよ」と無理に觀念の眼を閉ちさせ樣とするけれども、日城子は觀念の眼を只管に睜つて居る其の間に道筋も分明したと見へて「此方へ來なさい」と先きに立てドン〳〵以前の岩角を拾つて折角擔ぎ上げた車を擔ぎ下す成行任せの僕は默つて跟いて降るが、一生懸命觀念の眼を睜つて居る日城子は「何うも不都合ですなア」を繰返しつゝ降る。

隨圓の間を横りて露島への本道に出づ、出來たての豆餅を見る如、凸凹でブク〳〵、跡押す車夫の鼻嵐にも骨の折れることが知れる、成程發深に付けた跡押でないと分明て見ば勿体なくはなし、驅すること少時にして新村に入る、日城子余を顧みて曰く「大丈夫でしような」僕曰く「何がです」子曰く「道ですよ」と、日城子は未だ觀念の眼を睜つて居るのである「大丈夫でもしようども、若し間違つたら又引つ返すと極めましよう」子曰く「弱つたなア」

弱つたなと觀念と行くよ秋の道。なんぞ詰らぬことを思ひて、獨り車上に笑へるが可笑しさて道行く人の訝げなるが日本人の顔もチラホラ見ゆるが心强く思はるゝのであつた。不圖眼を擧ぐれば秋晴れの日に照り映へし漢江の流れに近く大煙筒の滕々として煙を吐いて居るのが見わる、車夫に聞けば其所が其の夫れなりと云ふ、吾輩子と相顧てアハヽヽ、車夫が提促されざて一流に悔り步る細砂を噛む轍のサク〳〵と響くも快し、川より上りて車疾きこと矢の如し。鐵門徒らに嚴しうして庭内蓬草離々たり、草を糊に人車轅を駢ぶること二十餘輛、落葉したる樹の下には一頭の馬を繋げるを見る、會社員の立ち迎ひらるゝに遲刻を謝して來賓を物色す曰く佐野內部水道技師、法學士青木戒三、久芳度支部會計課長、林田助役、法學士原田日報、領事館員、田中統監府屬等在り

英國船に救助さる

▲漂流中の沖繩縣人

沖繩縣島尻郡仲里居住の龜島カマル(四九)と云ふは本月三日五名の琉球人と共に自己の持船に薪を滿載して那覇に向け航海中大暴風に遭逸して帆柱は折れ舵は損じて進退の自由を失ひ見る〳〵渺茫たる海洋に流されて西にさまよい東に漂ひ木葉の如き捨小舟は哀れや浪のまに〳〵搖られて何れの涯に漂着するさへ定かならばこそ剩へ喰ふに米なく飲料品も缺乏して只だ此上は運を天に委ねて死を待つの外なかりける程に天の與へか約九日間を海上に漂ひ居る內同月十二日臺灣の附近にて黑煙を吹きつゝ進航する一汽船を發見せしにぞ聲を限りに救けを呼びたるに彼同汽船よりは直に短艇を下して救助に赴かんとしたるも何分荒浪の爲め其意を得ざるより如何はせんとためらひてあるを見たる前記の琉球人六名は今は之れまでなりと數丁の間を泳ぎて一生懸命に船体にかじり附きて漸く九死に一生を得たるが之れぞ英國汽船のインドラ號と云へるものにて今しも仁川に向ひて航海中の船なりしかば更に角同船の手厚き介抱を受けて一昨十六日仁川に入港し其旨仁川署に屆出でしかば取敢へず同船より遭難者の身柄を引受け仁川在留琉球人を呼び出して通譯となし事實を取調べたるに全く前記の次第と判明したるにぞ直に原籍地に照報にて照會すると共に遭難者一同を民團役所に引渡し目下仁川病院分院に收容して手當を加へ居れるが初め仁川に上陸したる際遭難者は眼を凹くして此土地は何れなるか日本の何處なるよとの問を發せしにぞ此處は朝鮮なりと敎へしかど頭から合點せざるもの〻如く…すも誠れにも滑稽なりしと云ふ

俳優が恐く置かれません

▲嫉妬深い會計課長

原籍は福岡縣柳川町の生れにて何のよしの(三)と云ふが櫻井町〇〇番地の何の某と云ふ產婆の裏側なる朝鮮家屋に猫一匹に下女一人た定まりの見越しの松こうなければ小奇麗に乙に濟して鎮座ましますに要こそあれと物好の記者が探つて見たるに驚き桃の木山椒の木に雀が棲つてチウ〳〵と囀り交はす所を聞けば元來よしいは串情ありて當地旭町の或る小料理店に酌婦勤めを爲し居たる際血道を上げて通ひ來れる〇〇〇會計課主席屬山中羊二郎をたらし込みて遂に八十圓の前借を支拂はせ前記の場所に前記の如く短かい秋の日の長く暮るを待ち佗ぶる結構な身の上とはなつたるなりとぞ、然るに甚のよしいのが何を感ずつてか、先日邊かに脚下から鳥の立つ樣に家財道具を取纏めて何處へか轉宅したりと聞いては前の關係上オヤ爾かねと濟まして居られず又もや裏の雀の子に聞いて見たるに驚くべし仰天くべし喫愕すべし櫻井町の住居の隣りには鰻に梅干田螺に蕎麥と俳優と昔から三大敵藥に數へられたる其の隨一の本町座に出勤せる壯俳が二つに仕切り片方に陣取つて虎視眈々牙を鳴らし爪を磨ぎ折こそあれと附け覗へるを何かの拍子に心付きたる山中君其の後と云ふもの氣が氣でなく役所へ出ても算盤玉に妾と俳優を加へて歸いて三で割つても二で割つても割り切れざるより思案を變へ君子危きに近よらずに怪我のない間何れへか轉宅させるが上分別こそ此度の移轉沙汰、近所隣りへ披露もせず曙町の或る所へソッと仕舞い込んだのなりとか、近所の小供謠ふて曰く「向ふの叔母さん此所に居で」叔母さん且那に代りて曰く「俳優が恐くて置かれません」

團平船の行衞不明

▲船體三隻船員十一名

仁川山平町加藤藤太郎氏所有に係る團平船青江丸第二號船(乘組船長魚本健吾(三一)外韓人二名)同第三號船(乘組船長越智德松(三四)同人妻外韓人二名)同第六號船(船長小西武市(三〇)同人妻外韓人二名)の三隻は先月十八日龍岩浦營林出張所より材木板類を積載して龍山に向け航行中行衞不明となり今日に至る迄何等の消息に接せざるにぞ昨日其筋に捜索願を差出したるがさても近頃遭難船の多い事かな

●酌婦の板場稼ぎ

原籍福岡縣小倉市□□町番戶不詳熊太郞妹中野せい(二〇)は京城若草町一丁目百十七戶料理屋業山田きくね方の抱酌婦なるが昨日午後七時頃若草町一丁目百八十番戶都湯事竹繁定助方へ入浴に行き歸宅に際しふと惡心を起し同町番戶不詳質商八島さん長女ひでの羽織一枚を竊取し…

…て歸宅し同家女部屋に潛伏し居たる所を訴に依り南部署警官出張して逮捕し本署に檢束し田部警部取調べたるに一時の出來心の盗みなれば厚く將來を戒めて抱主に引渡したり

●今後の人參産出額

●駈落娼妓押らる

大阪府西成郡鷲州村の生れ杉本スヱ(二七)は去る三十九年十二月中五個年の年季にて廣島市下柳町の貸座敷皆樓といふに身を沈め娼妓稼業中昨四十年八月逃亡して韓國に渡り處々ノタリ廻はりし末本年五月龍山に流れ來て本町三丁目笑月樓に酌婦に棲込み相も變らぬ娼妓を爲し居たるを此程前抱主寶樓の知人が發見して其旨通知したるより寶樓より龍山署に取押方を願出でたればスヱは取押へられて引渡されたり

●防疫從事員賞與

今夏京城市内に於て虎列拉病猖獗を極め警視廳初め各警察官は防疫事務に殆んど寢食を忘れて盡瘁し爲めに二三の警官は其職に殉じたるが今回內務大臣は過般の功勞を認めこれが防疫事務に當りたる各員に對し十六日附を以て夫々賞與金の辭令交付したりと云ふ

●感心なる小學生

本町三丁目卅七番戶藥種商井ノ口平吉次男利德(一三)本町一丁目菓子商大和軒事仙波德次郞長男弘(九)の二少年は十六日午後四時頃本町一丁目にて十錢銀貨一箇を拾得して南部署に屆出でたれば桐原署長は其正直に甚く感激して兩人に賞與として與へたり

●京城座雇人窃盜

南部護林洞統戶不詳孫順瑞長男孫千劉(十六)は昨日京城座に雇はれ廣告方で太鼓打をなして同夜芝居を觀覽して午後十二時過ぎ歸宅に際し本町七丁目後藤某方の履物を竊取して逃走せんとする所を被害者に逮捕せられ身柄は南部署に突出さる

●怪しき男の拘引

自稱福岡縣生れ力丸安雄(二〇)は目下一定の住所職業なく昨日午前六時頃永樂町三丁目四十六番戶佐藤某所有の空家より竊かに出で來りたる擧動怪しき點多ければ南部署密偵同人を浮浪者として本署に留置し余罪取調中なり

●二自轉車の衝突

本町七丁目廿一番戶綿商岩見音藏(三〇)と本町八丁目九番戶質商閔寶植(三〇)は昨日午前九時半頃自轉車にて南大門通三丁目字屋洋服店前を通行の際衝突し互に其不都合を責め合ひ遂に口論となりて其筋の厄介となりて事濟みたり

●仁川藝妓の廢業

仁川たかの抱藝妓定奴(十九)若奴(十九)の兩名は一昨日廢業せり

●昨夜の新町 遊廓の遊客は八十四人散財高四百九十圓八十錢なりき

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

十一月十八日 十月六日 一白 先負 壬午

あやふ△一白●非運の日なり萬事愼しみ畏るべし水厄水損避くべし△二黑●我意を押し通して誤ちあり其他訴訟談判には讓步を要す婚姻養子の事談△三碧●取組取引等調ふ紛糾事件の解決には効あり散財破財を戒しむ盜害防ぐべし△四綠●頭進福祿の日なり中絶離間を戒しむ△五黃●衰額を意味す新事及轉更の事凶紛爭盗害避くべし△六白●收利收益若くは好事を耳にするあり爭論訴訟の事起らん△七赤●子孫家畜從者の事に付き心痛若くは損害あり其他總して吉△八白●離別事多し新事及轉改の事凶盗害及談判訴訟爭論の上に注意すべし△九紫●計畫豫備に類する事成効す以外凶農業林業家には吉とす

京城の讀書界(下)

△日韓書房主任の談

△新刊書類●●● 新刊書類は其種類の如何や定價の高低に關らず案外賣行がよく新聞に廣告が出れば直ぐ買ひに來ると云ふ景氣である是れを觀ても世人が如何に新智識の吸集に務めて居るかゞ窺るであろう殊に殖民地――新開地だけに朝鮮と謂ふ名詞の付く樣なつまり朝鮮研究資料になる書が賣れるのは著しき傾向です本月十四日同店から發賣した韓國要覽の如き賣高は豫想外の成功を得る見込との話だ

△一般の讀書眼●●●● 京城には嘗て東京生活をして來た者が比較的多いから東京趣味が普及して居るから東都で賣れる書籍は當地に於ても歡迎せられてゐる就中婦人の雜誌講讀者の多いのは反つて都會以上で渠等が世の大勢を親ふに客ならざるを推知するに難からずである。

△韓人の讀書●●●● 目下の處韓人は其受けたる教育程度甚だ低く從つて渠等の讀書力は實に幼稚のもので韓國學校の教科書は我が文部省にて編纂したるものと二種あるが韓國學部で編纂の分は日韓書房が元賣所となつて地方にも送つてゐる而して時用四百圓位の教科書は學部から渡がある韓國學生は數學、物理、化學等の書籍は時々買ひに來るが若夫れ文學書に至つては見向きもせぬ韓國主要の都會には書店があるけれどもそれは副業に過ぎぬので書籍專賣の店は京城ばかりで未だ地方の讀書界は振はないから商賣にならぬと語れり(蘇子)

京城居留民團公文

京城居留民團告示第十八號

明治四十二年度當民團歲出豫算左ノ通リ更正ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十二年十一月十二日

京城居留民團民長代理 助役 林田茂七郎

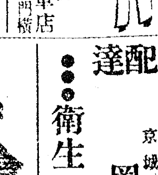
歲出 臨時部

第三款 居留民團債費
既定豫算額三萬八千八十八圓
更正豫算額二萬四千六百七十六圓
第一項 居留民團債費
既定豫算額三万八千八十八圓
更正豫算額二萬四千六百七十六圓
第五款 教育費
既定豫算額一萬千七百四十八圓
更正豫算額二萬五千百六十圓
第一項 小學校費
既定豫算額二千八百九十八圓
更正豫算額二千八百九十八圓
第二項 幼稚園費
既定豫算額四十五圓
更正豫算額四十五圓
第三項 高等女學校費
既定豫算額三千三百六十五圓
更正豫算額一萬六千七百七十七圓
第四項 中學校費
既定豫算額五千四百四十圓
更正豫算額五千四百四十圓
小計
既定豫算額六万二千二百六圓
更正豫算額六萬二千二百六圓
合計
既定豫算額二十二萬六千百六十三圓
更正豫算額二十二萬六千百六十三圓

廣告

うば入用 待合 春日 電話九七〇

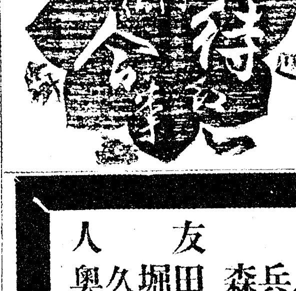
來る廿日午後四時より當地花月樓に於て本會秋季大會兼熊谷前民長慰勞會を開催候條同縣人諸君は奮て御出席あらんことを希望す
會費 金三圓當日御持參の事
申込所 同日午前迄に左記の內へ御申込の事
本町一丁目 小川勝平
本町二丁目 野田應治
本町四丁目 古城龜之助
本町六丁目 藤富國太郎
十一月十七日 京城大分縣人會


自轉車大安賣
角商會代理店横 前川自轉車店 京城南大門横

●●●●ぜんそく病
即妙根治の良藥あり同病にて困難の方は往復端書にて御照會あれ詳細を報す
●播磨明石細工町 山本氏

焦心單志多年爲斯道難於微義奧旨恍然似有得者頃騰發推聽斷敢敢茫洋辭愈淵
易斷鑑 京城本町五丁目 相敎授 館主 土御門派太陰陽師 三一館

無害ノ煙草ヲ御探會致シマス
EDP金口莨
は紙埃及産にて好聲を含み歯質を堅牢に致シマス故に衛生を重んせらるゝ好貴諸彦には特に御愛顧を蒙る次第で御座りマス直段は百本入七十五錢以上色々有マス
不拘多少御用命仰付被下度奉願候
洋金口莨 薬卷 パイプ
直輸入商 卸賣 小賣 日希商會
主任メニヤス 電話一二二番



●●●滋養と牛乳●●●
純良 牛乳 馬車配達
京城東四軒町 岡野牧場 電話〇六九番
●●●衞生と消毒●●●

季節と勉强
最も御經濟なる出來合品
各種洋服 フロックコート
インバネース 婦人コート
鳶形引廻し オーバコート
改良小供防寒衣 絨製厚司
右各種多數荷揃致し候に付此際一層勉强致すべく候間多少に拘はらず御買上之程願上候
尚地方の御注文は豫め寸法御指價御申越被下候はゞ御店取計ひ引換小包に送付致候
京城本町三丁目 田中洋服店 (電話九九三番)

○東京勸業博覽會 褒狀受領
○東京勸業協會製品評會 賞牌受領
御簞笥各種

御婚禮道具一式
右御注文の品御好に應じ精々大勉强確實堅固に出荷仕候間御用命仰付被下度候
營業案內御入用の節は御申越被下度候
東京市日本橋區小傳馬町二丁目 上初簞笥店 田中初五郎

父信一郞儀豫て病氣の處養生不相叶昨夜死去仕候に付此段辱知諸君に謹告候也
追て葬式の儀來る廿一日午後二時東本願寺別院に於て執行仕候也
明治四十二年十月十四日
嗣子 石田栞
親戚 足立瀧二郎 兵須久 森川鉄吉
友人 田中佐七郎 堀力太郎 久野勝平 奧田貞次郎

●天氣豫報(至十八日午後六時)
北西の風晴
十六日 (華氏) 最低溫度 五、三八 最高溫度 四七七

各種洗濯石鹼 專門製造販賣

用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛道、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用

京城旭町二丁目 (電話九七三番)

朝日石鹼製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求炊事女 年四十恰好のもの至急入用 本町一丁目官舍 桐原

●店員入用 十六七歳にて確實なる保證人有者 龍山京町古田米店(四八〇)

●下婢入用 十四五歳の下婢を求む餘暇には裁縫習字讀書諸禮生花等女子に必用なる敎育を施す 氏名在社(四七九)

●求職 年廿六簿記に經驗あるもの至急職に就きたし 氏名在社(四八二)

●ボーイ入用 十五歳以上廿歳以下數名入用 南山町三 京城ホテル

●就職したし 年三十五普通敎育あるもの鑛山事業に多大の趣味を有す如何なる危險も不厭 姓名在社(四八三)

物件部

●貸家 本町通り目拔の場所にて貸家あり希望者は來談あれ 氏名在社(四七〇)

●自轉車賣渡したし 英國製コースター付格安に 氏名在社(四七六)

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戶物置湯取付家賃面談 氏名在社(四七八)

●貸家 北部齋洞廿九統四に安價の貸家數間あり御希望の方は同所の內尾に就き問合せあれ

廣告

折箱製造元 京城明治町一丁目五十番戶 漢城病院下橫へ入ル 箱信事 鳥山商店

入院隨意 南山町二丁目 松岡醫院 電話六七五番 各科診療

龍山新市街山下町 內科 小兒科 眼科 原醫院 入院隨意

歐米新式高等裁縫 龍山榮町 田口洋服店 電話三二二番

陸軍諸官衙御用達 建築土工請負業 龍山老松町 磯口商店 電話一一九番

龍山若松町 島崎鐵工場 電話四四一番

龍山元町三丁目 長尾醫院 院長 醫學得業士 長尾乙二

原料直輸入廉價調製各種木形新着

弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選しスタイルは嶄新の粹を集め常に諸彥の御滿足を得置

●京龍間は御一報次第店員を派し地方は御一報次第見本帳御送附可仕候

深ゴム靴 特價六圓五十錢
アミ上靴
淺ゴム靴 五圓五十錢

東京 京城本町一丁目(郵便局前) 北村支店 店主 磯部廣吉

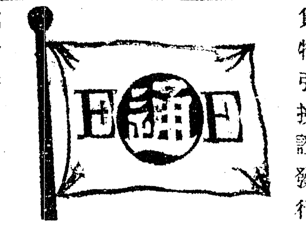
廿五日迄開業祝として一割引

かいきまわた

進物用眞綿、眞綿製防寒具類

京城代理店 京城本町一丁目(長谷川町へ通る) 栗永商店

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗 京城明治町二丁目(佛國敎會前) 電話三五四番



貨物運送取扱 稅關貨物取扱 貨物引換證發行 危險擔保附運送 品代金付貨物運送

內國通運株式會社

京城南大門驛前 京城支店 電話一七九番 電話七〇八番

仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番

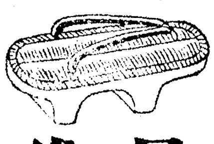
草梁驛前 釜山出張所 釜山驛前 草梁驛前 電話五一六番 電話六三七番

龍山驛構內 龍山出張所 電話二〇六番

綿わた綿ワタ やすくうります

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類

卸問屋 京城明治町一丁目四ツ角 唐川商店 電話六一二番



東京足袋

本店東京 京城大和町一丁目(日の出橋際) 大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番

正札付大安賣 厘毛引なし安心して買へ升

明治廿年七月創立 資本金一千萬圓

東京火災運送海上保險株式會社

京城代辨店 本町四 山口與服店 電話九番

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

各官衙御用品調達

營業科目 和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類 各學校御用品調達

委託販賣 東京ランバーグ商會代理店 東京中外アスファルト株式會社代理店 東京千代田生命保險相互會社代理店 東京博文館發行書籍特約店 東京金港堂發行書籍特約店 釜山臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番) 出張所 東京京橋南鍋町一丁目十番地 電話新橋三六九二

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セズ)

京城旭町一丁目六十七番戶 辯護士 岡田榮 (電話三九八番)

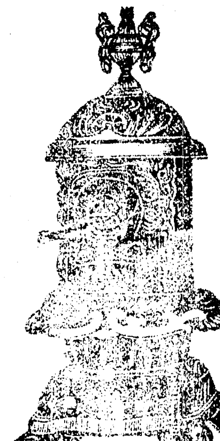
神戶資生分院 京城相生町(南門湯橫)

京城梅毒病院

◎花柳病專門附、痔一般(注射療法) ●入院隨意● 院長 醫學得業士 澁田耕平

廣告

暖爐各種



煙突取付並ニ煙突掃除大勉强

京城本町五丁目角一番戶 馬木勇吉 電四七一番

龍山山下町兵器廠官舍前入口 馬木支店 電三六四番

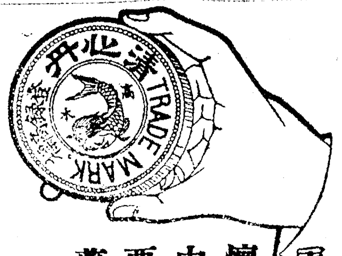
會席御料理御一人前 肴四品付酒二本 金六十錢 すき燒其の外應御好

京城竹園町一丁目 遊樂樓 (元三遊樓跡)

蒸氣消毒 牛乳

京城大和町一丁目 平山牧場 電話一三三

懷中要藥



清心丹は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして汽車汽船の酔ひを快よくすること妙

清心丹は高尙なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清明ならしむる特效有を以て發聲家其他交際場裡の必携劑なり

清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし

清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ

清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙

清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を嚙み碎き三四回用ゆれば必ず奇效あり

清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚙み碎用ひて大に豫防す

清心丹は人魚の商標と高木與兵衞の名稱へ御注意之上御求めを乞ふ

清心丹は定價金一圓(箱入)五十錢(箱入)卅錢十五錢(罐入)十二錢(瓶入)廿錢十錢五錢(紙包)の八種あり

清心丹は製造本舖は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

代理店 京城南大門通三丁目 電話(九百四番) 新井藥房本店

京城本町三丁目 (電話四七八番) 新井藥房分店

●電話開通八百三十五番●

唐津石炭直輸入商 並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り 近藤商店

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目 大上商店 (電話二五一番)

和洋酒、精酒、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候御客樣に對しては可寧親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目 原金旅館 (電話長一〇七番)

處方調劑の依賴に應ず

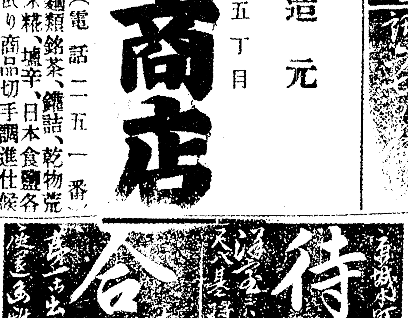
京城南大門通三丁目 新井藥房本店 藥劑師 小松禎三

根炭 堅炭 堅薪 松薪 松炭 石炭

京城旭町四丁目(電話一九八番) 眞下大吉商店

根炭 堅炭 松炭 石炭 堅薪

京城漢江通五丁目 直見商店 電話龍山二〇四番



日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番

仁川海岸通 電話三九番 貨物及船客取扱店 郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 十一月廿日午後三時出

●大連、太沽行 高砂丸 十一月十八日正午時出

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月七日午前六時出

●大連行 酒田丸 十二月七日正午時出帆

●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行 立神丸 十一月十七日午後時出

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送迎可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事